

会 議 録 （会議経過含む）

会 議 の 名 称	平成２１年度第３回由利地域協議会
開 催 日 時	平成２１年１１月２７日（金） 午後１時３０分～
開 催 場 所	善隣館 ホール
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「名簿」のとおり
会 議 次 第 １．開 会 午後１時３０分～ （進行：加藤振興課長） ２．会長あいさつ 合併以来、全国でさまざまな問題が出ているわけですが、国の今の政治状況もそれと似たような状況が続いていることはご案内のとおりでございます。３２００いくらかの市町村が１７７０くらいに合併して、効率の上がる行政運営を目指したわけですが、果たしてどのような効果が出ているのか当地域でも重要視されております。しかし、幸いにも我々が前から主張しておりました、その地域地域のことについて、もっと各総合支所の権限を掘り起こす事業といえますか、そういうものももっと大きくなって当然でないと申し上げておりました。合併時当初１０００万円の予算が５００万円になり、新しい市長さんが誕生されてから若干の上乗せなり、地域の予算枠というか、新しい事業もというようなことになり非常に喜ばしいことだなというように感じております。現在、全国的に高校を卒業する子どもたちの就職がままならない状況で、旧由利町出身の高校卒の就職希望者が何名おるのか、どのような状況にあるのかとは存じ上げておりませんが、非常に厳しい世の中だなという風に感じております。なお、農業分野については、戸別補償制度ですが、どのようにやっていくのか今の経過を４方式、大きく分けると２方式な訳ですが、我々の地域にそれを当てはめた場合に果たして、どのような有利性が出てくるのか、そういうこともまだしっかりとした数字的なものも出てきておりませんので非常に不安であります。このような時勢でございますので、われわれ地域協議会の由利地域の中では、皆さんのご協力を得ながら、特に今日議題となっております地域づくり推進事業について方向性を送り出していきたいと考えております。県の関係でもさまざまな問題があるようでございます。今日の新聞等でも新行財政改革大綱がはっきりしないということで、そういう各市町村に対しての影響も出てくるやに書かれております。そういうことを考えますと、地域づくり推進事業は直接住民に係わること、我々の地域に係わることでありますので、真剣に取り組み協議されることを望みまして一言あいさつに代えたいと思います。 ３．由利本荘市猿田理事あいさつ みなさま今日一日お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。今日はこの地域３回目いわば４回やる中の折り返し地点、それぞれの地域予定は入ってきているようすけれども３回目の折り返し地点この地域はトップで折り返しております。本来であれば事務的な話で恐縮ですが今回の会議に公の施設の見直しといいますか、運営の方法等、地域におとした課題等についてもご説明しなければいけない予定でございました。ただ議会への説明も控えており、予定がずれ込んでしまった関係がありまして、行政改革推進本部より予定していた件につきましては、大変恐縮ですが次回にご協議を頂きたいと思っております。取り立てて何月まで結果を出さなければならないものでもございませんでしたので、今日は会長さんのお話のあったとおり、地域づくり推進事業に絞って皆様でこ	

協議を頂きたいと思います。この地域づくり推進事業も一通り同じような説明を、同じような形で行ってまいります。ただ取り組み方はそれぞれの協議会で議論して、一概にやろうとしてもやれるものではありませんが、地域から是非ともやろうというものがあれば、方向性を見いだすまで一定の度胸、踏ん切りが必要であり、ましてこれを一回切りで終わろうという事であればいけないので、これを２年後３年後に続けて頂けるような仕組みの中で考えて頂きたいと思います。余談でありますけども今日の会議は、当初私に話しがきたときに国でやっている仕分け作業ではありませんけれども、地域の皆様方が自主的にご提案頂いた内容の事業について、地域の方々でご審議頂く内容ですので、私がここにいて何か申し上げるようなものでもなく、いない方がいいのではという話しをしたんですが、来いということでしたので出席させて頂きました。今回初めて説明する内容ですので、支所長さんたちの連絡網がしっかりしていますので、次回行う予定の支所にあつては莊司支所長にあのやり方でどうでしたというような問い合わせがあつて、他の地域の参考になる点もでてくるのではないかと、そういう意味では皆様方のご意見を伺いながら仕組みをどういった形で積み上げて結論づけてどういうもっていきかたをするのか、そのへんを詳しく見せて頂きたいと思います。時間が許す限り皆様方どうぞよろしくご面倒お掛けしますけれどもお願いしたいと思います。ここで道筋をつけて頂いたものに関しましては、責任を持って２２年度予算、議会の方をお願いするということを考えておりますのでご理解頂いてご審議頂きたいと思います。今日はいろいろとありがとうございました。

４．行政報告

（１）由利総合支所「支所管理費」の報告について （由利総合支所 莊司支所長）

資料－１の中で支出の多い事業について説明。また、市議会の議長、副議長の選任状況を説明。

（Ａ委員）

資料のナンバー２３番はどういうことなんですか？

（莊司支所長）

２３番の久保田大森台線フトン籠修理というのは、フトン籠は道路の脇にある金網で編んだ籠状の中に大きな碎石が入っているものですが、福祉バスが東由利原から米山に下りてくるときにこの間雪が降ったとき雪によりスリップしてしまい道路脇のフトン籠の法面にこすってしまったということでその法面を直すために２７万３千円の支出を準備しているということであります。

（Ａ委員）

バスは大丈夫だったの？

（莊司支所長）

バスも傷つきました。

（Ａ委員）

バスの修理代はでないの？

（莊司支所長）

バスの修理代は別に予算化してやる予定でいます。

（Ｂ委員）

１２月現在で３７７万８千円公費額が支出されているようでありますけども年度は３月３１日までで、あとの約１２０万円の残金について今後の見通しはどういう風に？というのは全部５００万円使い切る？使い切っても足りない状況では。

（莊司支所長）

いろいろ小さいものは出ている状況ですが、雪消えの後にいろいろ各所に修理が出てくるものがあるので、若干の余裕と時期的な経過を見ながらやっているとあります。できるだけ５００万円は使い切りたいと思っております。具体的には１２０万円、残金についてはまだ予定はありません。この後３月までには全部使用したいと思っております。

（Ｃ委員）

先ほどの２３番の質問の関連ですけども、普通一般の車両であれば車両保険とか対物保険についていますけどこれはついていなかったのですか？

（莊司支所長）

保険は掛かっております。公用車は全て保険を掛けておりまして、保険で補填しますが一応予算化した中で収入は収入、支出は支出という形をとりますので、そういう事務処理になります。このフトン籠部分については、保険は効かないということでこういう形で処理しています。バスそのものについては保険で直します。対物保険には入っているけども、市の財産を市が壊したので対象にならないということでもあります。

（Ｂ委員）

２０番のケーブルテレビの配線の件なのですが、７万２千円ほど支出されておりますが、指定管理者制度の中での白百合苑の運営ですね？市の施設には代わりはないけどもそれは５００万円の限られた予算の中で、非常に少ない予算の中でなぜ私の施設にもかかわらず費用弁償しなければならないのかその辺が非常に心に引っかかるのだが？これはどういう見解なのですか？

（莊司支所長）

市の施設では市の費用で繋いでおります。各施設全部申し込んで各施設の施設管理費で繋いでおりました。白百合苑につきましては、振興課に大内から来た職員がおりまして、その職員が前にＯＮＴに勤務していたことがあったということで、その職員が自分の労力で繋ごうかという予定でいたんですけども、異動してしまい業者をお願いしなければ接続できないというような状況になりまして、この支所管理費で支出したということです。他の施設については、善隣館は善隣館の管理費で繋いでいますし、支所は支所の管理費で繋いでいますのでお願いします。

（佐藤千秋会長）

今の質問と関連ありますが、指定管理者制度に基づいてやっている施設の修繕料というのはどういうときに支出することになっているのか教えてください。

（莊司支所長）

指定管理者については大きい修繕ということで、概ね５０万円以下の修繕についてはその施設の中でやってもらう方向で、ただ施設によって違いまして、白百合苑については５０万円ということです。ただ、ＯＮＴについては全ての施設行政で繋ぐということでやっていますので、指定管理者だから指定管理者で繋いでくださいということではなくて、ＯＮＴの普及推進の意味合いもありまして、行政施設については行政が繋ぐという約束の下でやっていますので従って白百合苑も行政側で繋いだということです。

（佐藤千秋会長）

たとえば３番ですが、橋社長もここにおりますがあの施設についてはどれぐらいのところで線引きされているものですか？

（莊司支所長）

ゆりえもんは２０万円以上の場合は行政、２０万円以下の場合は指定管理者を受けている方。

（Ｄ委員）

支所管理費からは離れるかもしれませんが、ふれあい牧場の屋根の破風修繕ということで２回ほど６、７番に上がっておりますけども、これとは別ですが先日の肉用牛のコンテストでふれあい牧場産の肉用牛が１６０万円の大変高値で売れたということで、新聞にも確か載っていたようです。それに関連して大変おめでたいことでして、そういう牛を生産といいますか出荷できるようになって大変喜びもひとしおの感がいたします。ただ生き物ですので食べるものを抑えるというか、抑えないで育てることが大事だと思いますが、そのあたりの予算的なものについて現在はどうなっているのかお聞かせ頂ければと？前に予算が足りなくて何回も補正をお願いしたというのを聞いておりますので２１年度あたりはどのような予算措置になっているのか教えて頂きたいと思います。

(司支所長)

ふれあい牧場の屋根の修理ということで2つほどあがっていますが臨時交付金の関係で今年はふれあい牧場の屋根のトタンを塗装しました。かなり多くのお金をかけて塗装しました。ところが実際屋根に上がって塗装し始めましたら、はぐちが腐れていてこのまま塗装してもどうにもならないということになりまして、2箇所ほどの軒先修繕ということになっています。ふれあい農場の牛のえさの関係でありますけれども合併当初からかなり少なくて交渉したりした経緯はありますけれども現在は実績も認めてもらいまして、財政の方でも理解を示してくれて牛がやせるような状況にはなっていないので、十分育てられるよう予算措置されております。

5. 協議

(1) 地域づくり推進事業について (振興課 佐藤主査)

資料－2に基づき内容を説明。

(佐藤千秋会長)

一通り市から希望されております事業を説明しましたが、皆さんからどれでもいいのですが具体的にどういうことと聞きたいことがございましたらご発言をお願いいたします。

(E 委員)

5 番の由利花木会の苗木が3000本と記載しておりますが、今花木会の会長しているのが幸島久治さんですがこの方が前に小学校やいろんな所に苗を出していたのが当時3000本だったそうで軽く3000本と言ってしまったそうで、1000本に訂正して頂きたいと思います。

(佐藤千秋会長)

ヘルパーの3級程度のものをという1番ですが、これは国で決められた1級2級3級なのか？講師などは地元で賄えるものなののでしょうか？

(土田福祉保健課長)

講師を手配できるのかというのははっきり言って私にもわかりません。この管内でできるかは不明です。

(A 委員)

民間でやっているケアヘルパーなどもいるのでお金を出せば可能では？県でもできるはずです。

(佐藤千秋会長)

もう一つ、カッコ書きの3級ヘルパーは50時間というのは国とかの正規の決まりなのか？

(A 委員)

決まりと思うが、福祉課で調べてほしい。

(D 委員)

提案書頂きましたがこれの取り扱いは、前回も説明を聞いたと思いますが、担当課長方も内容把握していないというお話を伺いましたが、支所の役割、私たち協議会委員の役割はどういうような棲み分けを考えているのか？この17件の出されたものの内からこれとこれはぜひやってほしいと協議会から提案として行うのか？あるいは支所としてこれとこれは予算を要求して300万円の中で22年度取り組んでいきたいとか予定などあると思いますが、その点の見分け方や地域協議会、支所の役割分担、役割がどうなっているのか再度説明して頂きたい。説明頂かなければどのように決めていくのか、わかりませんのでご説明をお願いします。

(司支所長)

初めての取り組みで他の地域に先駆けて由利が一番早いということで他の地域の情報も全然入ってきていませんが、企画調整課の説明の中では各地域協議会の委員、各総合支所の担当が提案してそれを取りまとめして原案を地域協議会に諮り、地域協議会の中で協議して事業の内容、予算の内訳、予算の配分、額を決定して支所長に指示をして支所の中でその事業展開の働きかけをしていき、最後に地域協議会に事業報告する。という前回の資料ですが、私どもでもそれしか資料を持っていません。

です。各課長が一つ一つ項目を吟味し検討したわけではありません。18日まで取りまとめたものを皆様にお配りしており、各課長にも昨日か一昨日配ったものです。はたしてこれがやっていけるのか、この団体がやる気であるのか、それともやった方がいいのではないかと提案なのか、あるいは団体に働きかけた結果、是非やりたい事業なのか、事業主体になるのかも把握しておりませんので、今日協議して頂いた後に実際やれるか確認しながらやろうと思っています。前回の10月下旬の会議から日もなくさらに予算編成されようとしている時期であり、急いでいるようで迷惑をかけているわけですが、そうすればどのように事業を拾い上げし、選んで、どうやって300万円を振り分けしていくのかなと私もわかりません。そのような段階にありますので皆様から忌憚のないご意見を出して頂いてこれはぜひやってもらいたいという総意で決めて頂くしかないのかなと思います。

（佐藤千秋会長）

今、木内さんより良い質問してもらいました。支所長が言ったようにこの17提案の中から1、2、3は必ず行う。これは外すとかというような話にはならないと思っていました。従ってこの出されたもの、皆さんがそれぞれ出したわけですから、最初の1番の話のようにそういう中身を聞きながらその人の理由、思いをみんなで話し合っ頂いて一つの原案として取りまとめをし、その協議の中身を聞きながら支所長さん、振興課長さん、事務局、会長、副会長、前の会にあった幹事会に相当する会、その中でこれはこう、これは是非ともといったようなことを取りまとめするその作業については、幹事会に任せて頂ければすなりといくのではないかなと思います。今日はどのようなことでもいいので果たしてやれるのか、やるとすればいくら掛かるのかというようなことでも結構ですので、どんどん出して頂いていつまでかかってもいいということではないですので、新年度当初予算に計上されるので、今日時間の許す限り何番の事業でも結構ですので忌憚のない意見を聞かせて頂きたいというのが会長からのお願いです。

（F委員）

1番についてお聞きしたいのですが、いきふれという事業があるのですが、私にはわかりませんし、10番の由利中同窓会東京支部総会事業ですが、先般21日東京支部総会に私も参加してみまして、事業内容の中に参加者への補助、こちらから行っている場合は今回も1万円の参加補助頂きましたし、そういう形でのバスの参加方式というのはどういう形なのかの2点わからないので説明お願いします。あと字句で4番の心の健康づくり活動支援事業の中で心の健康とありますけど心の健康とは中身が私にはわかりかねますのでこの辺の説明もお願いします。

（荘司支所長）提案者の方から説明頂けるのが一番いいのかもしれませんが、1番のいきふれ事業とはいきいきふれあい事業ということで各集落の高齢者を対象にして高齢者が孤立しないように年に何回か集落会館に出てきてもらっていろいろなふれあい事業を行っているのを略していきふれ事業。あと4番の心の健康づくりは率直に申しまして自殺しないように何とかしましょう。地域でお互いに自殺予防を頑張りましょうということだと思います。あと由利中同窓会の参加については従来福祉バスを利用し、参加しており、行き来の旅費はガソリン代、高速料金をみんなで割り勘するということで参加料も安かったです。宿泊料とガソリン代、高速料の割り勘だけで参加しやすかったのですが、現在は各それぞれ参加してもらい由利中同窓会の事務局から1万円の補助がっており、市からの補助はおりませんので、市のバスで行けば参加しやすいのではないかなという意味です。

（F委員）

同窓会の中身ですが、総会後東京の友人にあいまして話した中で私も実は由利町の出身だけど中学校は出てない。だから私には案内も来ていない。そういうことでは同窓会という名称にこだわっての枠付けの中であればおかしいのではないのかなという気持ちがあるのですがという話が出ました。知り合いにも由利町に中学校の途中までいたが卒業していないだから当然名簿に名前も載ってこないのでは案内もいかないというのであればもう少し検討する余地があるのではないかなと思うのですが。

(佐藤千秋会長)

私も何度か参加していますが、そういう話しが役員会ででました。他の旧市町みたいにするさと由利町会など小学校、中学校と固定しないやり方でできないのかということ言われたことはあります。

(荘司支所長)

私もこの間参加してきました総会前に役員会が開催されてその役員会の中でも由利中同窓会というのがおかしくないかという提案がありまして、反対されましたけども結果的には組織としてこれまで続けてきた組織だから活かしていった方がいいのではないかと、実際他の地域を見てもふるさと会という支所などで主体となって通知を出しているという状況にあります。ただこの東京支部総会の場合は完全に同窓会東京支部の役員の方々が全部自分たちで苦勞して900枚の封筒を出している。450枚しか返事が来ないけどもという話しでした。しかしながら今までの先輩のことを考えれば無くすわけにはいかないだろう。従ってもう少し頑張りましょうという東京支部の役員の方の決意でありました。そういった話しもあるかもしれませんが、今ふるさと会は由利本荘市ふるさと会という一本化された連合組織もあるわけで、それには全ての由利本荘市出身者で東京にいる人に案内がいていいるとはいえないかもしれませんが、決して参加できなくはないだろうと思います。広報等が届かないのでわからないということもあるかもしれませんが、東京の由利本荘市ふるさと会という連合組織もあるわけでありますので、これからだんだんと連合組織の方に包含されていくのではないかなと、今のところは合併してから5年ですのでそれぞれの地域がやっぱりいいよなというはありますけども、やがては10年20年30年なっていけば由利本荘ふるさと会になるのではないかなという感じがしますので、中学校をでていないから案内も無いし行かれないなということであれば問題かもしれませんが、この間の東京支部の役員会の中ではまだこの組織の中でやっていきたいと思います。また、参加するものは拒まないという話しもしていましたのでよろしくご理解をお願いします。

(G委員)

ここに提案書17提案ありますが、この提案したのは全てこの委員の中からですね。委員以外からもでているものですか。

(荘司支所長)

支所の各課へも募集かけましたので各課からも出ています。

(G委員)

そうすれば、委員と支所の課以外は出ていないということですね。

(B委員)

水辺プラザの件が2件ほど提案されておりますが、建物ができたあとの利用計画、あるいは、誰が利用するものなのか、どんな利用の方法するのか行政サイドで計画、素案があると思いますのでお話し頂きたいと思います。

(佐藤主査)

素案についてお話ししたいと思います。平成22年度は施設が完成したばかりということ、清掃作業、その他業務に係わるものの一部委託方式をとって直営方式で実施します。23年度からは指定管理者制度に則って管理していく方式を検討しています。

(B委員)

施設利用の基本的な考え方ですが、各集落であるような会館利用というような形態なのか、あるいは、道の駅のようにいろいろなものを実情取り入れるようなそのへんはどのように考えていますか。

(佐藤主査)

利用の形態となりますとあくまでも、地域交流施設ということで地域の拠点施設として位置づけています。国道108号線沿いにあるということ、水辺プラザの管理施設ということも兼ねておりますのでミニ道の駅になり得る施設としても考えております。

(B委員)

今年もいろいろなイベントがあったわけですが、そういうイベントは行政サイドで水辺プラザの役

員の方の意見を聞くとは思いますが、その事業を運営するための費用の捻出などは行政の債務の中で予算を組み支出するような形なのですか？

（佐藤主査）

イベントにつきましては西滝沢子ども水辺協議会という団体がありまして、その団体にイベントはお任せしています。市として行うイベントは水辺プラザ桜まつりであり、照明を付けたり、電気の申請等費用が掛かりますので市で行っています。それ以外は水辺協議会にお願いして実施してもらっています。

（E委員）

そもそも提案された地域づくり推進事業そのものが今年限りの事業提案なようですが、現在17でいる提案は、提案された方々もそれなりに予算を組んで提出されたと思いますが、この17で300万円以内に収まっているものですか、それともオーバーしているものですか。

（佐藤主査）

取りまとめした中で金額を書かれていたものもありましたが、内訳がわからなくて掲載しないでくださいというものもありました。それで今回は金額を載せてありません。事業の内容によってはソフト事業ではなくハード事業に分類されるものもあることから、全部載せましたが金額は載せてありません。現在きているもので300万円はオーバーしています。この事業については、前回の地域協議会でも説明しましたが、単年度事業ではありません。継続して行います。

（A委員）

先日鮎川地区の総代会がありまして、地域づくり推進事業でいい案がないかと協議しましたが、皆さん何事も言い出した人が苦勞して大変だ、そういうことで鮎川地区では3人それぞれ出すことにしたのですが、例えば水辺プラザ来年できますので3番の事業のボリュームを膨らまして、あそこには鮭が上りますので資源調査の目的で、有料で鮭釣りをを行う。福島の前戸川でやっていますけども釣った雄は2匹まで持って帰れる。雌は没収。10月下旬から11月上旬までかな。孵化場がないと許可されないと思いますので石沢に孵化場がありますので雌を採ったらそこに運んでいって依頼すればできないことはないのかと思います。そういったことで物事を膨らましていけば…これはいつまでたっても絞りきれないと思います。それと同窓会の東京支部を逆に由利地域でやってもらいたい。必ずペアできてもらい大胆に補助する。それと親子できてもらえば地元の良さをPRできるのではないかな。そういう感じで絞っていくしか進まないじゃないかなと思います。

（佐藤千秋会長）

一つ聞きますが、2番の前郷駅のことですが、これは売店をつくるということでしょうか。

（G委員）

ただいまの提案は私の方からですが、商工会女性部と書いてありますが、商工会女性部と相談してやりましょうという結束したものではありません。ただ、毎日いる前郷地域があまりにも人通りが少ない商店にもお客さんが入らないそういう状況の中で寂しい思いをしているわけです。その点、前郷駅舎は各時間帯にお客さんも来るし、時間帯によっては小中高の生徒も来ます。物を売って商売をしようというのではなくて、例えば矢島駅に佐藤まつ子さんという方がおりまして、一時間ぐらい見ていたことがあるのですが、矢島高校の生徒がズボンを下げた姿を見て何おまえその格好というようなしかり方をしたり、腹減ったラーメン食べさせてと言えお湯を沸かしてインスタントラーメンを作って時間にならないうちに早く食べていけよと言うような声を掛けるのが私は非常に感動しました。だからただ商店で物を売って利益を得ようとするのではなくて、そういった役目になれるのではないかなと思いました。先日、女性部の支部の役員会がありまして皆さんにお話ししましたら、やはり商店も従業員をなくして自分が社長で兼こづかいという商店がほとんどです。自分の店をなげてそこで食堂をやるとするのは非常に困難な現状です。ただ、これも一つの地域に対するわれわれの役目かなということで提案したのであって、まだまだ具体化したような案はみえておりません。

（佐藤千秋会長）

前郷区会の古堀地内の花壇の造成のことですがあそこは何十人という地権者がいて承諾を得るにも大変だというような前から問題のあった土地ですが、承諾を得られるだろうという見通しがつくかつかないか？その点ともう一つ９番の第２回全国廃校サミットこれは、会場として引き受けようとして今進んでいるのか？その点教えてください。

（Ｈ委員）

９番については私が提案しました。旧鮎川小学校を形で残したいということで地元の方ではありませんが、石油資源の方が先になって今進めております。そして第１回目は山形で行いましたが、２回目はうちの鮎川の方で引き受けてきたからやりたいという思いでありました。ということでなんとかこの地域づくり推進事業から経費を頂けないものかと提案しました。すでに開催するのは決まっています。

（佐藤千秋会長）

１回目の山形というのは金山町ですか？

（Ｈ委員）

そうです。

（Ｅ委員）

いずれこれは提案者が必要に応じて請求されたものと思いますので、さらに先ほどの佐藤さんの説明によりますともうすでに金額をだただけで３００万円をオーバーするということはこの１７の事業の全部はできないと、これをいかに策定するか削減するかということに尽きるのではないのでしょうか。

（佐藤千秋会長）

なので、皆さんから意見を頂戴しながら最終的には原案づくりを行いたいと申したのです。

（Ｅ委員）

そうしますと３００万円の費用については、協議会に権限があるのか行政にあるのかどちらにあるのですか？

（荘司支所長）

協議会の意見を尊重して実施するとなっておりますので協議会に権限があると理解しています。

（Ｄ委員）

この中には行政でやるべきものも入っているので、それらは行政で予算化してもらいそれ以外の団体でやるべきものに配分するべきだと思います。まだ中身が決まっていないもの、やる気があるかわからないものもあるので、もっと細かい資料を集めてから検討しなければいけないのではないかと。また単年で終わるより継続的に行われる方がいいと思います。

（佐藤千秋会長）

この事業は４年続く事業だということを頭に入れてもらって、単年で終わるものがあったても、継続される事業があってもいいと思います。支所長が言ったように具体的に協議会で１７の内いま話し合った中で支援したいものを幹事会で提案をつくって、提案者、また関係課と協議していかなければいけないと思います。これはどの程度進んでいるか、例えば第２回廃校サミットみたいにぜひ鮎川小でやりたいという意気込みを感じられるものもありますので、そういう意見を出して頂ければと思います。

（Ｆ委員）

１７番の道路等環境整備事業についてですが、地域の団体が事業主体のようですが、当初由利本荘市が合併した際に、集落座談会で市道については全て舗装する。未舗装は無くすという話ししていたのですが、現在未舗装は何ヶ所ぐらいあるのか教えてください。

（遠藤建設課長）

申し訳ありませんが、何ヶ所、何路線かは把握しておりません。集落の終わりまで舗装しているが

山に入ると舗装は切れている。そういった箇所もありますし、前郷地内にあっても未舗装箇所もありますし、市道といっても田んぼの中をはしっている未舗装道路もありますので、何ヶ所、何路線、何メートルとはデータも持ってきていませんので言えません。１７番は建設課からの提案ですが、このアイデアは国道や県道、河川堤防などの清掃、草刈りを行った場合に県からいくらか集落や団体に実施後に補助金として支払いされています。それはなかなか県で対応できない状況にあってというのがありますし、市道などの場合も集落内でみなさんの目につく箇所は草刈りなど行われていますが、集落間、みえないゴミなどはきれいになっていない現状です。道路側溝は維持管理等対応していますが、集落内の水路などは対応できていないのが現状です。提案した趣旨は、となり同士、集落同士活動を通じてもう一度ふれあう機会ができるのではという安易ではありますがそういったことでこの１７番を提案いたしました。まだ、どこの団体でこれを行うかなどは決まっていますが、建設課で考えられることとして提案しました。

（Ｆ委員）

山王町の日枝神社から大日会館までは市道から除外されていた場所が市道に認定され、舗装された訳ですが、それと同時期に馬喰町の佐藤宅からの道路も市道に認定されたのですが、あそこは舗装されていないのですが、なぜ、合併以前のときに住宅地の未舗装は無くすといっていたのですが、現状放置された形でいるのですか。

（遠藤建設課長）

大日線についていつ舗装されたかはわかりませんが、今回の集落要望にも民家に通じる砂利道の舗装は出てきております。そればかりではなく水路の改修など要望が多すぎまして、その中からこちらで優先順位を付けさせて頂いて、限られた予算の中で緊急度の高いものからやっていくという方法しかできません。そういったことで舗装が遅れている部分もあるかもしれません。その点については、不便をかけている部分からやっていきたいと思いますのでご理解頂きたいと思います。

（Ｉ委員）

１１番を提案したのは私ですが、地域の唯一の宿泊施設が休業になってとても残念に思っている一人なのですが、誰に相談したわけではありませんが、前回の会議に出席していなくて資料が届いてから自分で考えて具体的な案はないのですが、由利原の良さを知ってもらいたいということと宿泊施設が由利地域に無くなってしまったので残念で実現できるかわかりませんが提案しました。

（Ｃ委員）

先ほどの会長の意見の回答ですが、場所は皆さんご存じですよ。日枝神社向かいの昔の苗代のところですが、由利町で宅地開発を進めたようですが、金銭面で反対がありやれなかったようです。それで現状はあのとおり荒れ放題です。今ヨシが生えているので何とかできないものかと考えていたものですから、国の耕作放棄地の利活用の法案も廃止になって残念でした。現地を貸してもらいたいと思います。昔の苗代ですので面積が２０坪ぐらいで何十人の地権者がいる現状です。荒らしておくのではなく、刈り払って湿地になっていますので菖蒲などを植えてみんなで管理して、駐車場と東屋ぐらひは造れば心のよりどころとなれるのではないかなと。ただ、問題は地権者だけではなくて水路があるのですが、私も年に一度泥上げなどを行っているのですが、底なし沼みたいな状況ですので行政の協力を必要としたところです。実際行うことになれば３００万円では終わらないと思いますが全部ではなくてもこれを行えばと思います。前郷の中心地でもありますのでということで提案しました。

（Ｊ委員）

皆さんの意見を聞いてみてどれも由利地域を賑やかにしたいという思いを感じました。先ほど木内さんが言われたとおり、行政で考えて頂くことは考えて頂いて、私も水辺協議会で毎月フリーマーケットなど行っていていろんな人の意見を聞きますけど、由利原に最近いったことがないという話を聞きますので、そういう方たちのためにも由利原と前郷と鮎川とつながっているいろいろな活動ができるよう、例えばおばこ号に乗って前郷駅で降りた人には、週に一回でも由利原まで案内するなどやっ

てもいいのではないかなと、そうすれば本荘に住んでいる人でもおばこ号できて山に行ってという一日使えるのではないかなと思うのです。これとは限らず広い範囲で考えていけたらと思います。私たちの中でもペンション四季を利用できないものなのかという話もありました。誰かがご飯を持っていっても泊まりたい人がいれば使わせてあげればいいのという話もありましたので、せっかく造ったもの、環境、自然をフルにいかせるような地域づくり推進事業であってほしいなと思います。

（Ｋ委員）

結論から言いますとどれも大事な考えや大切な思いが凝縮されたものと思っています。このあとに全員の委員が関与できないという状況だとすれば配慮頂きたいと思いますが、私は特に由利地域全体に係わるもので私たちの思いがつながる、地域全体の一体感がばらばらにならないものを選定して頂ければと思います。かつ、合併したので自立と共存でやっていますが、まだまだ歴史的な地域の思いがまだあると認識しています。鮎川、前郷、西滝沢それぞれの地域の人の思いに答えられるようにと考える必要があるのではないかなと思います。

（Ｅ委員）

なかなか話が進みませんが、地域づくりあるいは地域の活性化を進める事業だとすれば、この提案された中で例えば１０番の中学校同窓会などは直接馴染まないような感じもしますのでこのへんで仕分けをしていかなければ話は進まないのではないのでしょうか。

（佐藤千秋会長）

ここでこれが事業にそぐわない、これはいいと結論づけていくのはもっともっと提案者あるいは事業をやる場合の支障など今日の話しを参考にしながらあるいは一つ一つ調査をしなければならないと思います。尾留川さんの言うとおりの、これはなじまないからカットだというのはどうなのかと。

（Ｅ委員）

全部実行できるのであればいいのですが、できないのであれば堂々巡りでなかなか進みませんので、例えば中には別ルートで提案されて実施されてもいいのではないかなと思うものもありますので。

（佐藤千秋会長）

尾留川さんの言うのもわかるのですが、ただここで白黒つけるには資料が足りませんし、調査研究しないといけないものもありますので、皆さんからの話しをもとにして幹事会でも研究しなければならないのでし、これは馴染まない事業だと言うという意見でも結構だと思います。

（Ｅ委員）

例えば中学校の件にしてもこれは全般的なものでなくて関係者の意見であって由利町全体からすればそれほど重要性が感じられないと思います。

（Ｂ委員）

先ほど佐藤委員から指摘あったとおり私も基本的にはそこに住む住民が共通した課題に向かって地元が一つになって進んでいく姿こそが一番大事なことだと思うわけで、地域協議会が事業提案をするという趣旨になってはいるのですが、もっと地域住民がスタートの時点から参加してその事業を推進していくのだという始まりからの姿勢がとても大事なように思えてならない。そういう意味で先ほど木内進委員からありましたが、鮎川地区では総代にこの提案について話しされたように聞きましたが、それぞれの地域に住む住民の意志をスタートの時点で積み上げて一緒に推進していくのだという基本的な考え方が非常に大事な気がしてならないと思うのですが、その点猿田理事どのように思われますか。

（猿田理事）

先談申し上げましたとおり提案された方にはそれぞれの思いがあって、いろんな方に相談された方もあったでしょうし、一人で自問自答しながら頑張って提案された方もあるでしょうし、ただ、先ほどから予算に枠があるからというお話をいぶんでおりますけれども、確かに枠はありますけれども仮に２０事業があったとしても一つ１５万円ですよね。私も大昔公民館事業など行っていたことがあるの

ですが、一事業15万円もあればビッグイベントだったように思いますし、これが地域におろした場合に地域の皆様方のいろんな意志だったりするとそういうエネルギーは限りなく膨らむのではないかなと期待できるんじゃないかと思います。確かに先ほど行政でやるべきものもあるんじゃないのというのは確かにあると思います。そのようなものは率直に意見として出して頂いてそれは別枠で考えていく方が合理的だと思いますし、せっきくの提案であっても制約があつて不可能だというような場面があるかもしれません。そのような場合はきちんと説明ができるようにして頂ければいいのではないかなと思います。私は、今日ぱっと見て17提案してもらっただけで大成功だったと思います。今日集まりの地域協議会の皆様はある程度の趣旨をご発言頂いたその後の組立方については幹事会また会長さんに一任されて、この次の地域協議会ではこの事業はこうだったときちんと説明されると思いますので預けて頂いた方がいいのではないかなと思います。ほかの地域にあつてもこういった話しの組立方を由利であつてはこういったやり方をやっていたよと話しを十分できる材料を頂いたとありがたく思っておりますので全部が全部手本にするわけではありませんけれども、一つの大きな手本になって今日の会議が進んでおつたと実感しております。事業内容も多岐に及んでおりますし、いろいろと皆様方のご難儀に心から感謝を申し上げたいと思います。何とか実践に向けて頂きたいと思います。繰り返し申し上げますが、来年度予算にあげるのとは一つかみ300万円と一つの補助金項目にあげるだけであります。これが由利地域分、ほか8地域の300万円とあげるだけでありますので、早ければ新年度に入ってから専決処分でもこの事業この事業と具体性がみえた段階で事業実践にあたっていくような項目への300万円の予算割り振りを事務的に行つて議会での承認頂く、あるいは遅ければその後の6月議会で振り分けの予算措置をご承認頂くというような手続きにはなると思いますが、いずれ4月1日から事業実施できるようなものではありませんので、時間的にまだまだ、今日3回目で4回目にはあと1回しかありませんけれども切迫したような物の考え方ではなく、積み上げていける、関係団体の人たちにも地域協議会でこういうことを考えてみたけどもなんとでしようというような時間的な余裕は数ヶ月間十分あるんだというご認識でいいと思います。そういった余裕を持ちながら中身を住民の皆様方におろして頂く時間というものは可能だろうと思いますので今日はとてもいい進行であつたと思います。

（佐藤千秋会長）

理事の意見をうけて大変心強く思ったしだいです。今まで質問無かつたもので16番のゆりの里特産品推進協議会のことですが、これは町時代に要求を出していた事業に思いますが、今は市からこの協議会から補助金をもらってないのか教えてください。

（荘司支所長）

ゆりの里特産品推進協議会ということで由利地域の特産品開発を進めようということで由利町時代は45万円の補助金を出していたわけですが、この点が削減されて0になっております。そういったことで特産品推進協議会の活動が非常に動きにくくなっています。要望があつていくらかでも補助できないかとのことでの産業課からの提案でありますので、内容としてはゆりまつりのときに特産品コンクールをやっていますけれども、その際に出品されたお菓子、ケーキ、パン、炭などを推奨品として推薦して、それに特産品のシールを作つて、貼つて販売促進につなげようということと併せて、由利中同窓会東京支部総会などでPRしていくなどの活動をしているところですが、現在は活動できなくなっている状況での産業課からの提案です。

（G委員）

13番の森子神社ですが、やはり国指定の立派な神社ですのでぜひ皆さんに見て頂きたいし、一人でも見に来るといふことは町に人間が入ってくるというような相乗効果にもつながりますので、駐車場整備をするといつたらこれはもう100万、200万円ではできないのではないかなと思います。それで大曲の花火の場合に民家を駐車場として貸して、200円というようなものがあますよね。例えば森子集落の人たちが町の事業であれば町へ自主申告して車を移動させましたという工夫をすればできるような気がします。せっきくこのような立派な神社がわれわれの町にあるというのは本当に

誇りがあることだと思いますので、ぜひ町外、県外にPRしながら人をよべて、少しでもこの地域を賑わわせられたらと思います。ぜひ推薦したいと思います。

（佐藤千秋会長）

森子大物忌神社と書かれていますが、指定されたのは神社の建物ではなくて境内ですので間違えないようにお願いします。

（荘司支所長）

宗教に係わるものにはうんぬんという実施要綱がありまして、話を聞いたときに宗教的なものを必要経費入てはうまくないという話してして、国指定の史跡になった神社境内地でありますので、森子集落の人たちが近隣で開いている土地があるのでそこを集落として地主より借りるのでそこを駐車場にしてほしいという話してして。市で駐車場を造ってほしいとの話してしてがとても350万円もかけて市の駐車場は造れないということでの提案です。年中何十台も来るようなものでもありませんので簡易的にロープでも張って、看板を建ててというような駐車場でどうだろうかというような話しをしたところでした。集落としては舗装して区画線を引いてというようなことを考えたようですが、そこまでもしなくていいのではないかなと意見交換したところでした。せっかくきてもトイレもない状況で近隣へ駆け込む状況と聞いておりまして、簡易トイレと駐車場を地元の人たちから協力、奉仕してもらいながら造ってもらえればとそんな話しをしたところでした。

（佐藤千秋会長）

無ければ閉じたいところですが、最後に先ほど私が言ったことの確認ですが、支所長、課長、事務局と会長、副会長で再度検討しますが、その際再度各提案者に質問したり、その他調査をお願いするかもしれませんのでそのことを了承して頂きたいと思います。それでは1番の地域づくり推進事業についての議題は終了したいと思います。

6. その他

（伊藤教育学習課長）

12月6日に岩城総合体育館でバルセロナ五輪柔道金メダリスト古賀稔彦さんをお招きして文化講演会を開催します。ぜひご覧になって頂きたいと思います。

（A委員）

理事にお聞きしたいのですが、薬師堂の駅が新設されましたがトイレがないのはどういった意味でないのですか。

（猿田理事）

申し訳ありませんがわかりません。後で調べてから支所長さんにご連絡したいと思います。

（A委員）

無くて良ければ鮎川の駅も無くして頂きたいと思います。鮎川の駅は市のトイレになっているので管理は市ですよ。ぜひ掃除を週1、2度で結構ですので市でお願いしたい。というのも愛好会でも予算がなくて大変ですので市の嘱託職員でもいる職員でお願いしたいと思います。

（荘司支所長）

由利高原鉄道については自分たちの鉄道だという思いで、自分たちで守っていこうという意味確認をしあいながら現在に至っているわけで、旧由利町時代から各駅については各駅愛好会を組織して頂いて地域の方々が駅を守ってもらいたいというお願いをしてきております。もし、意識が変わってきければそれなりに対応をしていかなければいけないでしょうけど、今日この会で思ったことはそういったものにも補助金を上乗せできるのではと、そういった項目あるわけですので今やっているものに対しての補助金の上乗せできると思いますので、そういった提案して頂ければ各駅愛好会にいくらかでも補助金の上乗せも可能なかなと、また、いろいろやっているイベントにも補助金の上乗せもありますのでそのへんを提案して頂ければと思います。

(A委員)

実情はやる人がいなくて大変で、300万出せばやる人もいるかもしれませんが。

(D委員)

薬師堂の場合は、造らなければ管理が楽だからだと思います。

(荘司支所長)

吉沢駅からトイレが必要と要望もありましたけど、今は汽車の中にもトイレついておりますので、それを使ってほしいと話しています。

(F委員)

教育の関係で2点あるのですが、一つは通学路の問題ですが前郷の中ですとどういう風な通路になっているのか。その集落によってばらばらで一本化するべきものではないかと。もう一つは、車に子どもパトロールのステッカーを貼ってパチンコにいつている人がいるがそういう人はやめてもらった方がいいのではないかなと思うのですが。

(伊藤教育学習課長)

2点目のステッカーの件は、伝えておきたいと思います。個人的な意見ですがやはりそのような防犯のステッカーを貼って遊技場に行くのはうまくないと思いますので伝えたいと思います。通学路の一本化ですけども集落によってどのように違うのか把握しておりませんので学校に聞いて連絡したいと思います。

7. 閉会

終了 午後5時

会 議 の 資 料 | 別紙のとおり

◆出席者名

会 長	佐 藤 千 秋	理 事	猿 田 正 好
副会長	徳 山 洋 一	支所長	荘 司 和 夫
委 員	佐 藤 金 市	振興課長	加 藤 徹 朗
委 員	原 田 清 孝	市民課長	鈴 木 甚 悦
委 員	佐 藤 文 夫	福祉保健課長	土 田 修
委 員	尾留川朋四郎	産業課長	三 浦 貞 一
委 員	佐 藤 イ ネ 子	建設課長	遠 藤 利 夫
委 員	橘 明 子	教育学習課長	伊 藤 康 勝
委 員	二見美代子	振興課主査	佐 藤 弘 幸
委 員	佐々木勝美	振興課主任	小 田 嶋 一 成
委 員	木 内 進		
委 員	木 内 芳 一		
委 員	相 田 勝 弘		